大阪市廃止・特別区設置

学者の会シンポジウム：「大阪都構想」の危険性を考える

～都構想が万博の「障害」となるリスクを見据えて～

（主催：「豊かな大阪をつくる」学者の会）

平成 27（2015）年 5 月 17 日の住民投票で、大阪都構想つまり「特別区設置・大阪市廃止」が否決された。それにも関わらず今、再び、この構想を実現するための「住民投票」に向けた様々な政治的な駆け引きが、大阪府市において激しく展開されている。民主主義政体における「直接住民投票での否決」の重みを踏まえれば、否決から数年の内にこうした「再チャレンジ」の動きが生ずること自体が異例と言えよう。しかも推進派は住民投票前に、当該投票は『衰退する大阪を変える**最初で最後のチャンス**』だと繰り返し言明していた事を踏まえるなら、その異常さは激しく常軌を逸するものと言わざるを得ぬところである。

一方で、平成 30 年、オール大阪、オールジャパンの取り組みが功奏し、大阪での万国博覧会が決定された。構想推進派は、この万博を成功させるためにこそ、都構想が必要だとの主張を繰り返している。しかし、実践的な行政学の見地からは、**万博を成功させたいのであれば、都構想はむしろ「大きな障害」となる深刻なリスク**が指摘されている。ついてはこうした状況を踏まえ、「大阪都構想＝大阪市廃止・特別区設置」や「万博」等を巡る諸議論を、とりわけそのリスク＝危険性に着目しつつ、政治学、社会学、地方財政学等の**学術的な視点から、改めて客観的に検証**する。

記

日時： 平成３１年２月２８日（木） 午後６時３０分～午後８時３０分

場所： エル大阪 ６Ｆ 大会議室

主催： 「豊かな大阪をつくる」学者の会

プログラム：

- 藤井 聡・京都大学大学院教授（公共政策論）
- 森 裕之・立命館大学教授（地方財政学）
- 薬師院 仁志・帝塚山学院大学教授（社会学）

- ●京阪・Osaka Metro 谷町線「天満橋駅」より西へ 300m
- ●京阪・Osaka Metro 堺筋線「北浜駅」より東へ 500m
- ●Osaka Metro 御堂筋線「淀屋橋駅」より東へ 1,200m
- ●JR 東西線「大阪天満宮駅」より南へ 850m

・事前予約はございません。当日満席になりましたら、恐れ入りますが入場をお断りすることもございます。（定員約 200 名）
・会の進行の妨げになる行為がある場合は、ご退場いただくことがあります。
・問い合わせは右記まで メール： sec-tba@trans.kuciv.kyoto-u.ac.jp 電話：075-383-3239（平日のみ対応でご了承ください）